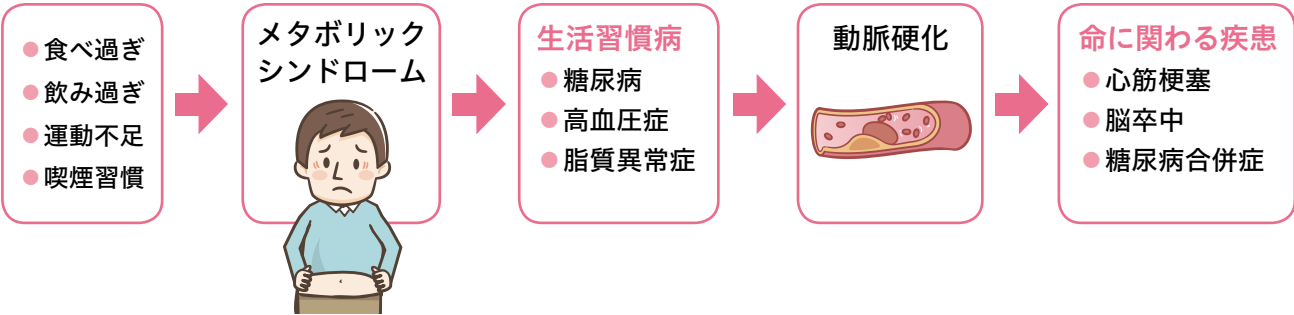


特定健診を活用して重症化を防ぎましょう

特定健診は40歳以上75歳未満のすべての人が対象で、糖尿病や高血圧症などの生活習慣病のリスクを高めるメタボリックシンドロームの予防・早期発見を目的に行われる医療保険者に義務付けられた健診です。生活習慣病は自覚症状が少なく、放置すると脳血管疾患や虚血性心疾患、腎疾患につながります。また、糖尿病や高血圧症は新型コロナウイルス感染症の重症化リスク要因としても報告されています。「自分の身体は自分で守る」はじめての一歩として特定健診を、ぜひ活用してください。



こんなあなたに「特定健診」はお勧めです

毎年健診の案内が届いているのに
受けたことがない

無関心だといつの間にか…。
健診は自覚症状がない生活習慣病
を未然に防ぐ唯一の手段です。

今は元気、でも将来は…

身体の見えないところが悲鳴を上げている
かもしれません。自覚症状がなく進行する生活習慣病は、健診を受けなければ気付くことができません。毎年欠かさず健診で身体のチェックをすることが健康づくりの基本です。

今年40歳になり、
初めて健診の案内が届いた

何事も始めが肝心。
健診デビューです。

特定健診

年に一度の健診サイクルを習慣に！

いきいきとした健康的な生活

病気の予防・早期発見

毎年ではないが、時々受けている

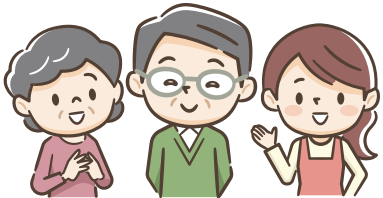
継続は力なり。
毎年の健診結果を比較することで小さな変化を見つけることができます。

！ Check!

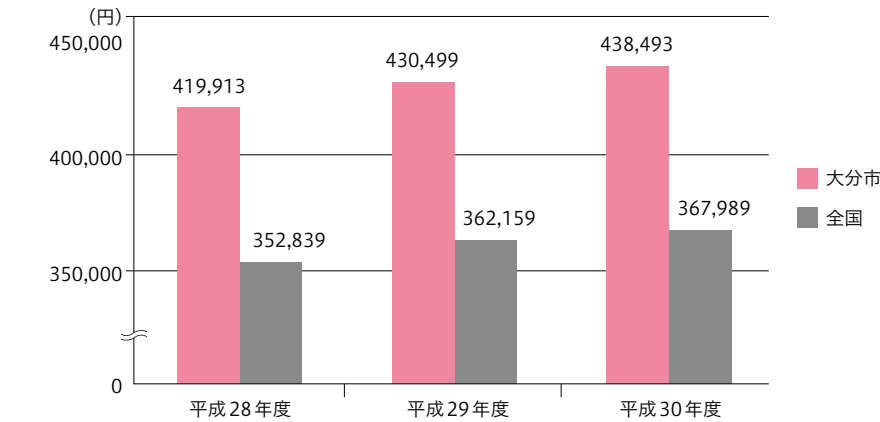
医療機関で治療中の人**も**特定健診の対象です。治療中の病気に関する検査だけでは十分でない場合もあるので、主治医に確認・相談をすることが必要です。

大分市の医療費

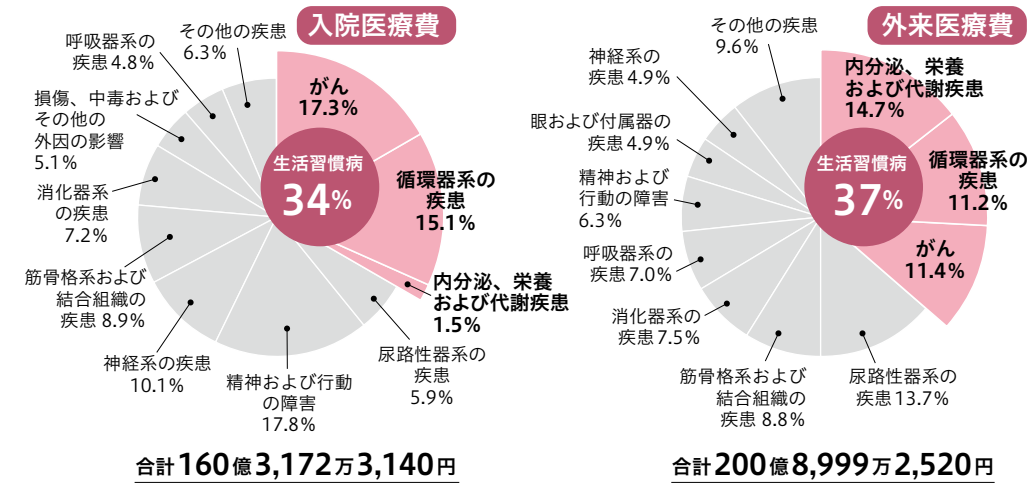
大分市の国民健康保険の一人当たりの医療費を見ると、平成30年度の医療費は29年度と比べて**7,994円高くなっています**。一人当たり医療費は年々高くなっており、その額は**全国平均よりも高い**状況が続いています。



一人当たり医療費の年次別推移



大分市の国保医療費の疾病別構成割合 令和元年度 (平成31年度)



！ Point

大分市の医療費（約361億円）のうち、約3分の1は生活習慣病関連に使われています。「生活習慣病」とは、運動不足や食べ過ぎ・喫煙などの生活習慣の積み重ねに遺伝的要素が関連して引き起こす病気の総称です。糖尿病や高血圧・脂質異常症などの生活習慣病は、重症化すると心臓病などの生命に直結する病気を引き起こす可能性が高くなります。生活習慣病の発症や重症化を防ぐことで、いつまでもいきいきと生活のできる「健康寿命の延伸」はもちろんのこと、医療費の削減にもつながります。「特定健診」を受けることは、生活習慣病の予防や早期発見につながります。この次のページからは、「特定健診」について詳しく紹介します。

国保 おおいた

国民健康保険のお知らせ

国民健康保険(国保)は、加入者の皆さんがお互いに支え合う仕組みです。納付いただく国保税は、国保事業の最も重要な財源になっています。今回は、医療費や特定健診などについてお知らせします。

国保年金課 25375735